

■ 7月に入りました。

ここからが勉強の仕上げです。

平日、休日山下クラスの7月は実戦答練です。この演習を活用して総まとめに入ります。各科目の知識をまとめ第3回模試へと進みましょう。

★受験生の皆さん

毎日、毎日、問題集と戦っていると思います。テキストや問題集で、知識の大洪水が起きているはずですが。ここで大事なことが「開き直りの追い込み」です。

勉強時間を本試験まで逆算すると、やるべきことが明確になります。合格には勉強時間等の大きなエネルギーが必要ですが、「気持ちの問題」も大事です。

前に進むエネルギーが合格を呼び込みます。本試験での合格ラインの数点に多くの受験生がいます。**1点の重み**です。

どんな試験も最後は暗記が必要ですが、すべてを暗記は難しいです。この時期になっても全範囲終了していないという方もいるでしょうが、勉強範囲を定めて最後まで詰め込みましょう。しっかりとした定着した知識で試験に行きましょう。

皆さんは残り1か月で大きく伸びます！！

開き直り・・・合格点がとればよい！！

★直前期には切り捨てる勇気も必要

受験で注意することは高得点を目指す勉強もありますが、あくまでも合格点（48点）を確実にする勉強をお勧めします。100のあやふやな知識よりも**確実な50の知識**のほうが点数は取れます。気になり始めれば終わりが無いのが法律です。すべてを学ぶことは範囲が広がります。場合によっては合格からは遠のくこともあります。この試験は択一と選択式のバランスが大切です。

★仕上げのポイント

1. 今まで学習した範囲の知識で仕上げる。
2. 数字のまとめ。**繰り返し暗記**する。
3. よく間違える箇所は一旦法律条文（テキスト）に戻る。
- 4 毎日選択式問題は3問解く（過去問集から）。
- 5 保険料をまとめる。徴収法、健保、国年、厚年そして社一。
- 6 123で全科目再度学習。
- 7 100の法則を科目単位で再度一気に解く。

試験直前当日は、気力で勝負。努力した分必ず報われます。全力を出しても学力が合格に届かなければ、後々早く気持ちが切り替えられます。しかし、自分のミスで自滅の場合は、あと2点

どうして？と悔やんでばかりの日々が長くなります。65点も48点も合格は同じです。最後は自分を信じて結果はあとで付いてくると考え自分自身との戦いに入ることです。

★直前期の問題の解き方

- (1) 知らない知識は、本試験で必ず出ても、合否に関係ない。・・・こう割り切る
- (2) しっかりとした知識で肢の7割が判断できたら合格する。
- (3) 知ってる知識は絶対にする。読み間違えの正誤判断を誤らない
- (4) 問題の内容も理解できているなら、解説は読み込む必要はない。
- (5) 合格までにどのくらいの時間が必要で、残された時間はどれだけあるのか考える

■初級クラス・中上級クラス

★直前対策強化（年金横断）（別売り）

19時～21時30分

7月28日（月）	年金横断①
7月29日（月）	年金横断②
7月30日（月）	年金横断③
7月31日（月）	年金横断④

■合格講座・中上級合同

★（休日クラス）

7月5日（土）	社一③④
7月6日（日）	社一確認テスト・予想テスト
7月12日（土）	判例対策①②
7月13日（日）	実戦答練 労基・労災・徴収
7月19日（土）	実戦答練 雇用・健保
7月20日（日）	実戦答練 国年・厚年・一般
7月21日（月）	徴収1日講座道場

★（平日） 19時～21時30

7月7日（月）	実戦答練 労基
7月9日（水）	実戦答練 労災
7月11日（金）	実戦答練 雇用
7月14日（月）	実戦答練 健保
7月16日（水）	実戦答練 国年
7月22日（月）	実戦答練 厚年
7月23日（月）	実戦答練 社一